



# 東小だより

横浜市立東山田小学校

学校だより4月号

平成31年4月5日発行

TEL (594) 4851

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashiyamata/>

## 自分のはかりで自分を超える



校長 宇都宮 桂

学校教育目標～一人一人が輝く東山田小学校

育てたい子ども像

	学び続ける子ども（知）	自分を創る子ども（体・公）	共に生きる子ども（徳・関）
高学年	探究的に課題を見付け、知識や経験を生かし、よりよく解決していることとする子	自分の可能性を見出し、地域や社会のために、自ら考え行動できる子	礼儀や思いやりをもって、まちの一員として社会と関われる子
中学年	自ら課題を見付け、意欲的に学び続ける子	自分のよさを生かして、他者と協働しながら自分の役割を果たそうとする子	相手の立場や気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって助け合える子
低学年	基礎・基本を習得し、楽しさを感じながら、前向きに学び続ける子	自分のよさに気づき、自信をもって進んで行動できる子	自分を大切にし、柔軟に生き、人と豊かにかかわれる子

暖かな日が多くなり、学校の桜も満開です。子どもたちはわくわくした新鮮な想いを胸一杯にすって、新年度が始まりました。76名の新1年生を迎え、全校児童599名でのスタートです。一人ひとりの胸の中では「がんばりたいこと」や「なりたい自分の姿」が浮かんでいると思います。

さて、先日、引退を表明したメジャーリーグ・マリナーズのイチロー選手が、引退会見で次のような話をしていました。「はかりは自分の中にあって、自分なりに『はかり』を使って自分の限界を見ながら、ちょっと超えていくということを繰り返してきた。少しずつの積み重ねでしか、自分を超えていけないと思う。」また、「進むだけではなく、後退しかなしい時期もある。しかし、自分が『やる』と決めたことを信じてやっていった。

人と比べるのではなく、自分のはかり＝ものさしで自分を計ること。そして、後退や遠回りもするが、自分の限界を少し超えることや、地道に続けることで力を付けていったこと。このイチロー選手の成長のプロセスは、まさに子どもたちの成長のプロセスと同じだと感じました。自己肯定感や自己有用感が高いとは言えない子どもたち。人と比べる必要はなく、自分の強みを生かし、弱みを補いながら、少し背伸びをする位のめあてをもって取り組んでいくことで力が付いていくと考えます。

私たち職員は本校の学校教育目標や指導の重点から「育てたい子ども像」を、低・中・高学年別に考え、その姿に迫れるように、勉強や運動等、教育活動全体を通して取り組んでいきます。そして、その姿に迫るためには、保護者や地域の方と連携・協力しながら進めていくことが大切だと考えています。また、2020年度から学習指導要領が全面実施となります。今年度、学校教育目標の具現化や育てたい子ども像に近づくために学校として教育課程を編成し、主体的・対話的で深い学びを通して生きて働く知識を含む資質・能力の育成を育んでいきます。

子どもたちが「なりたい自分の姿」を目指して、自分なりに努力を続けられますよう、自信をもって続けることが出来ますよう職員一同全力で指導・支援に当たってまいります。今年度も本校の教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。